

本会議質問から

第3回定例会では、8人の議員が個人質問を行いました。質問順に主な質問事項は次のとおりです。なお、質問の詳細は熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

市民連合



福永 洋一 議員

質問 1 避難所の環境整備について
避難所指定の小中学校体育館に冷暖房機器・シャワー等の設置。プライバシー確保としてパーティション配備を。

答弁 避難所となる体育館については新設・改築を機にシャワー設備を設けたい。パーティションは今後備蓄することを計画していく。

質問 2 市民の防災意識や地域防災力向上策について
自分の命を自分で守る「自助」、地域で守る「共助」の意識向上や、地域防災力向上のための具体策が必要。

答弁 今年度から町内ごとに、地域版ハザードマップ(※7)の作成を働きかけ、自主防災意識の強化に取り組み、地域防災力向上につなげたい。



用語解説 ※7 ハザードマップ 災害予測図。

公明党



園川 良二 議員

質問 1 災害時の迅速な避難発令と復旧を問う
広域的な情報の共有と防災無線等の設置を要望する。また消防団員の増員と報酬増額の見直しができないか。

答弁 国や県等との更なる情報共有を図り、水防警報装置を含め多様な伝達手段を確保する。消防団員の確保への取り組みや処遇改善を進める。

質問 2 通学路の安全対策の推進について
通学路の安全点検で、見つかった危険箇所に対して、優先順位を付け改善する必要があるが、どうされるのか。

答弁 学校、警察、道路管理者が改善策を検討し、各々で優先順位を付け対策を実施。それらが速やかに実施されるよう要望していく。



共産党



那須 円 議員

質問 1 災害見舞金の増額と床下被害への支給を
政令指定都市の中で最も低い金額の災害見舞金を増額するとともに対象外の床下被害も支給対象に加えるべき。

答弁 災害見舞金の増額等は今年度も同基準で支給し、義援金も配分していることから、現時点では考えていない。今後の検討課題とする。



質問 2 立野ダムによらない総合的な治水対策を
立野ダムは想定外の豪雨の時には対応できない。ダムによらない総合的な治水対策を住民参加で追求すべき。

答弁 スピード感を持った治水安全度向上は喫緊の課題。現時点で事業費や時間的なものを総合的に考慮した場合、ダムの優位性は高い。

自民党



満永 寿博 議員

質問 1 市立高校教職員の自前採用について
市立高校の更なる活性化のため、本市独自の教職員採用試験を実施し、優秀な熱血先生を採用すべきである。

答弁 来年度から市独自で市立高校教員の採用試験を実施するとともに県立高校と研修交流を継続的に行うことで市立高校の活性化を図る。



質問 2 生活保護受給者の就労支援について
稼働年齢層の早期自立のため、市役所で生活保護相談と職業相談・紹介を一体的に行うシステムができないか。

答弁 中央区役所にハローワークのサテライト(※8)を設置し、新年度より、生活保護相談者等の早期自立に向けた就労支援に取り組む。

用語解説 ※8 サテライト 事業所と離れた場所に設置された、事業所の一機能を受け持つ事務所など。

くまもと未来



下川 寛 議員

質問 1 住民意見判断結果の明確化と公表について
予算編成等における住民意見を判断した結果を明確化して公表し、納得ある市政構築のための制度をつくるべき。

答弁 様々な手段を用いながらより民意を反映する市政に努め、予算編成や施策の優先順位など、その結果の返し方も改善してまいりたい。



質問 2 議会答弁の事後の取り扱い制度について
議会で研究や検討と答弁されたことの事後経過を公表し、公開の場での議論を求めていくことが必要ではないか。

答弁 議会など公の場での議論の重みは理解している。答弁後の検討状況の報告のルール化は難しい面もあるが、更なる研究を進めていく。

市民連合



田辺 正信 議員

質問 1 中心市街地開発（花畑地区）について
NHK熊本放送会館の移転により、花畑地区の開発及び産業文化会館について見直しは考えていないのか。

答弁 まずは、熊本市花畑地区開発協議会にできる限りの支援を行いたい。また、本市としても何らかの方向性を固める時期にあると認識。

質問 2 食肉センターについて
関係者に不安を与えないように、代替施設の確保、関係者の意向についてどのように対応し受け止めていくのか。

答弁 関係者の意向等を踏まえながら、移転希望の多いと畜施設と協議を進めており、関係者への種々の支援策等についても検討していく。



公明党



藤永 弘 議員

質問 1 体験型防災施設の抜本的拡充について
防災教育の拠点になる体験型防災施設の各種体験型機器を最新機器に更新、及び抜本的拡充を求める。

答弁 現行のスペースや資機材を出来る限り活用しつつ、近年の自然災害等に関し学習するための改修等について、検討会を発足する。

質問 2 いじめ撲滅のための、校長宣言を求める
入学式で「いじめは、いじめる側が100%悪い。いじめは絶対に許さない。」と校長が宣言することを求める。

答弁 入学式は子ども達や保護者、地域の方々へ語りかけるよい機会であることから、校長の思いを込めて話すよう伝えていく。



自民党



小佐井 賀瑞宜 議員

質問 1 財政見通しと新市基本計画の実現性について
今後、厳しさが増すと予想される財政運営の中で、合併3町域への新市基本計画の実現性について見解を問う。

答弁 今後5年間の財政の中期見通しに、新市基本計画の諸事業を盛り込んでおり、今後もその実現に向けて着実に取り組む。

質問 2 植木病院の公営企業法全適と今後の事業展望
地域医療を守り診療体制充実や安定経営を確保する為にはマンパワーが不可欠と思うが今後の事業展望を問う。

答弁 市民病院との連携を今後も強化し、さらに、紹介された経営改善に取り組む事例等を参考に今後の病院経営に活かしていく。

